

# 心的外傷の 文献講読セミナー

優れた文献を熟読し、議論し、一つ一つ自分の臨床に積み重ねてゆく

大震災から半年を過ぎようとしている今、そして、今後、被災地支援において、被災による心的外傷への対応が臨床家に求められていきます。また、日常の臨床場面でも、主訴の奥に様々な心的外傷の問題を有するクライアント・患者の方々は少なくありません。そうした問題から逃げずに正面から向かい合い、乗り越えるための助けをすることこそ、我々、心理臨床家のプロフェッショナルな仕事です。

我々が臆することなく、また様々な逆転移反応に埋没せず、適切な理解・介入をするために、原理原則を学ぶ必要があります。優れたセラピストたちによる古典・文献から学びましょう。

この文献講読セミナーでは、毎月、心的外傷の理解・治療的介入に関する古典および近年の文献を課題として読み、講義、質疑応答を展開していきます。また随時、臨床事例を用いて臨床対応能力へとつないでいきます。

## 担当講師:

橋本 和典 (PAS心理教育研究所クリニカルディレクター 東京大学駒場学生相談所・立教大学非常勤講師/CGP全米公認集団精神療法士・臨床心理士)  
花井 俊紀 (PAS心理教育研究所 セラピスト/臨床心理士)

**対象:** 心理療法家、カウンセラー、看護師、教師、および大学院修士課程在籍またはそれに準ずるもの。

**日時:** 毎月第4木曜日 19時～21時

**料金:** 各回 6,000円(学生:5,000円)  
(資料費込み)

## 申込方法:

申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにて当研究所にお送りください。

## スケジュール:

第1回(9月22日) 第2回(10月27日)  
第3回(11月24日) 第4回(12月22日)  
第5回(1月26日) 第6回(2月23日)  
第7回(3月22日)  
(文献は裏面をご参照ください)

## 連絡先・お問い合わせ:

〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-9  
PAS心理教育研究所  
Tel & Fax: 03-6407-8201



## 講読文献リスト(予定):

### 第一回(9月22日):概論

### 第二回(10月27日):外傷論基礎

Horowitz, M., Winer, N., Kartreider, N., Alvarez, W. (1980). Signs and symptoms of posttraumatic stress disorder. Archives of General Psychiatry, 37, 85-92.

Yehuda, R., McFarlane, A. (1995). Conflict between current knowledge about posttraumatic stress disorder and its original conceptual basis. American Journal of Psychiatry, 152(12), 1705-1713.

### 第三回(11月24日):子どもの外傷

Terr, L. (1991). Childhood traumas-An outline and overview. American Journal of Psychiatry, 148(1), 10-20.

Galante, R., and Foa, D. (1986). An epidemiological study of psychic trauma and treatment effectiveness for children after a natural disaster. Journal of American Academy of Child Psychiatry, 25(3), 357-363.

### 第四回(12月22日):古典的外傷論からの展開

Freud, S. (1919). Introduction to psycho-analysis and the war neuroses. Standard Edition, 17, 205-213.

Putnam, F. (1989). Pierre Janet and modern views of dissociation. Journal of Traumatic Stress, 2(2), 199-223.

### 第五回(1月26日):外傷治療における集団の意味

Buchele, B. (2000). Group psychotherapy for survivors of sexual and physical abuse. In R. Klein and V. Schermer (Eds.), Group psychotherapy for psychological trauma (pp.170-187). New York, London, The Guilford Press.

Klein, R., and Schermer, V. (2000). Introduction and overview: Creating a healing matrix. In R. Klein and V. Schermer (Eds.), Group psychotherapy for psychological trauma (pp. 3-46). New York, London, The Guilford Press.

### 第六回(2月23日):外傷論の現代的展開

Herman, J. (1992). Complex PTSD: A syndrome in survivors of prolonged and repeated trauma. Journal of Traumatic Stress, 3 (1), 377-391.

van der Kolk, B. (1994). The body keeps the score: Memory and the evolving psychobiology of posttraumatic stress. Harvard Review of Psychiatry, 1, 263-265.

### 第七回(3月22日):外傷治療論

Horowitz, M. (1974). Stress response syndrome: Character style and dynamic psychotherapy. Archives of General Psychiatry, 31, 768-781.

Wilson, J., and Lindy, J. (1994). Empathic strains and countertransference. In J. P. Wilson and J. D. Lindy (Eds.), Countertransference in the treatment of PTSD (pp. 5-30). New York, London, The Guilford Press.

※他、講義、  
セミナー内で  
随時文献を  
紹介します。

## PASまでの地図



## 専門プログラム参加申込書

記入： 年 月 日

参加プログラム名	
フリガナ 氏名	男・女（ 歳）
連絡先	〒 TEL（ ） —
所属先	名称
	所属・職種 (学年)
	所在地
学歴	①出身大学・学部 ②最終学歴・取得学位・専攻
職歴 / 心理臨床 実践歴	①機関名 ②職種 ③仕事内容(対象・アプローチ) ④期間など (以前に当研究所のプログラムに参加なさった方は、変更・更新時のみお書き下さい)
心理臨床 学習歴 (スパー ヴァジョン 教育分析 を含む)	①機関名 ②講師名 ③内容 ④期間 ⑤時間数など (以前に当研究所のプログラムに参加なさった方は、変更・更新時のみお書き下さい)

(有) PAS 心理教育研究所

〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-9

Tel 03-6407-8201 (月曜日～金曜日 午後2時～6時)